

「第 22 回 愛媛県勤労者定期観測調査」報告書

（2022 年 5 月調査）

2022 年 9 月 29 日

[はじめに]

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会では、愛媛県内勤労者の福祉を推進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を実施しています。当報告書では、2022 年 5 月に実施した「第 22 回愛媛県勤労者定期観測調査」の結果を報告します。調査にご協力いただきました加盟団体・事業所様、並びにご回答いただきました皆様にお礼申しあげます。

[調査概要]

- ① 調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）
- ② 調査対象：一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会に登録する 98 団体・事業所の勤労者
- ③ 調査項目：勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等
- ④ 調査実施期間：年 2 回 5 月・11 月、第 22 回調査 2022 年 5 月 1 日～5 月 31 日
- ⑤ 回答数：第 22 回調査登録者数：432 名、回答者数：352 名、有効回答数：350
- ⑥ 調査方法：質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

[総括]

今回第 22 回（2022 年 5 月）調査では、愛媛県内の勤労者が見た県内の景況は、第 20 回（2021 年 5 月）調査、第 21 回（2021 年 5 月）調査に続いて 3 回連続しての上向きになった。これまでの景気回復局面と同様に、製造業と非製造業の「景況感」「賃金収入の伸び」での開きが目立った。一方、「身の回りの物価」について、「上がったと思う」の回答が約 8 割に達し、調査開始以来、「上がったと思う」の割合が最も多くなった。

[主な調査結果]

- (1) **景況** 愛媛県内の勤労者が見た県内の景況は、前々回調査・前回調査に続いて 3 回連続しての上昇になった。 p.3
- (2) **身の回りの物価** 「上がったと思う」が約 8 割に達し、調査開始以来、「上がったと思う」の割合が最も多くなった。 p.6
- (3) **実労働時間** 全業種で見た労働時間 DI は上昇した（8.6 ポイント上昇）。 p.7
- (4) **賃金収入** 全業種で見た賃金収入 DI は大幅に上昇した（16.5 ポイント上昇）。 p.8
- (5) **仕事の不安・悩み** 「将来の収入」「毎月の収入の少なさ」の割合が多かった。 p.10
- (6) **生活の不安・悩み** 「預貯金など資産の少なさ」「自分や家族の健康」の割合が多かつた。 p.13

第22回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート有効回答数	350
------------	-----

性別	人	%
男性	257	73.4
女性	93	26.6

年齢構成	人	%
20歳代	33	9.4
30歳代	103	29.4
40歳代	114	32.6
50歳代	87	24.9
60歳以上	13	3.7

家族構成	人	%
1・あなた(①)	57	16.3
2・あなた/親(①④)	40	11.4
3・あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	5	1.4
4・あなた/子ども(①③)	10	2.9
5・あなた/子ども/親(①③④)	2	0.6
6・夫婦(①②)	43	12.3
7・夫婦/子ども(①②③)	170	48.6
8・夫婦/親(①②④)	4	1.1
9・夫婦/子ども/親(①②③④)	10	2.9
10・その他(それ以外の組み合わせ)	9	2.6

居住地	人	%
東予	149	42.6
中予	150	42.9
南予	49	14.0
その他	2	0.6

勤務地	人	%
東予	151	43.1
中予	146	41.7
南予	53	15.1

勤続年数	人	%
5年未満	31	8.9
5年以上15年未満	126	36.0
15年以上25年未満	103	29.4
25年以上	90	25.7

勤続年数	人	%
平均(年)	17.3	
中央値	15	
最頻値	10	

従業員数	人	%
9人以下	16	4.6
10～49人	15	4.3
50～99人	19	5.4
100～499人	52	14.9
500～999人	109	31.1
1000人以上	139	39.7

業種	人	%
民間製造業	122	34.9
民間非製造業	165	47.1
公務員	29	8.3
その他(医療、福祉団体等)	34	9.7

就業形態	人	%
正規	330	94.3
非正規	20	5.7

労働時間	人	%
20時間未満	10	2.9
20～30時間未満	6	1.7
30～40時間未満	76	21.7
40時間	70	20.0
41～50時間未満	139	39.7
50～60時間未満	34	9.7
60時間以上	15	4.3

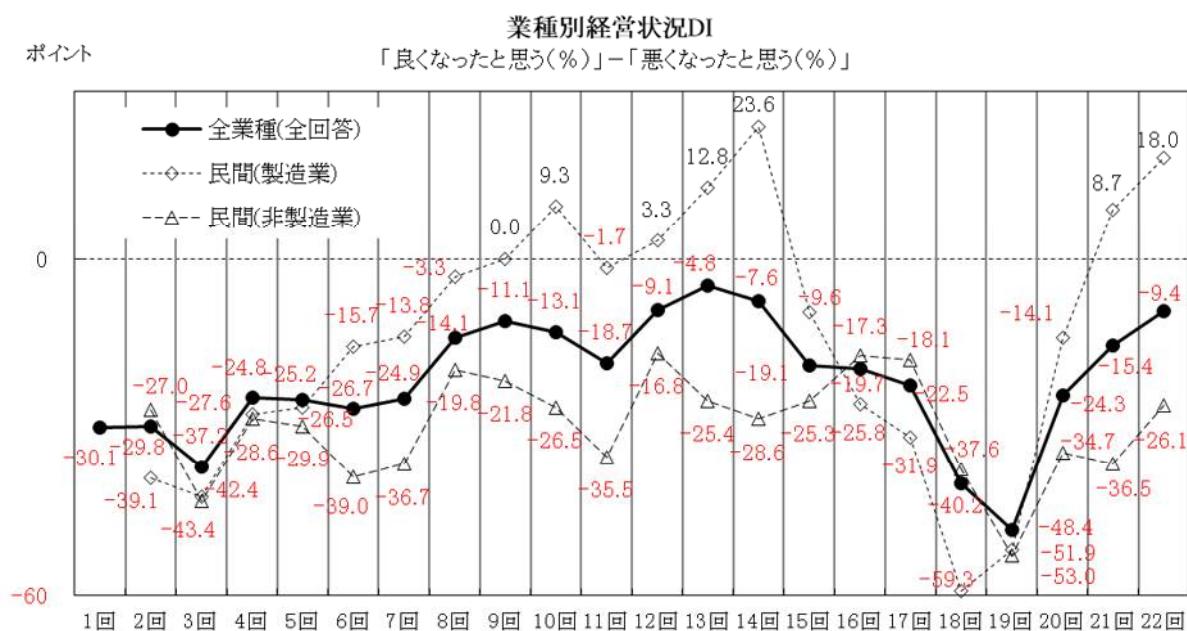
年収	人	%
200万円未満	13	3.7
200万円～400万円未満	83	23.7
400～600万円未満	140	40.0
600～800万円未満	94	26.9
800万円以上	20	5.7

世帯の就労状況	人	%
あなただけが働いている	125	35.7
あなた以外に、フルタイム就労者あり	123	35.1
あなた以外に、パートタイム就労者あり	78	22.3
あなた以外に、フルタイム・パートタイム就労者あり	24	6.9

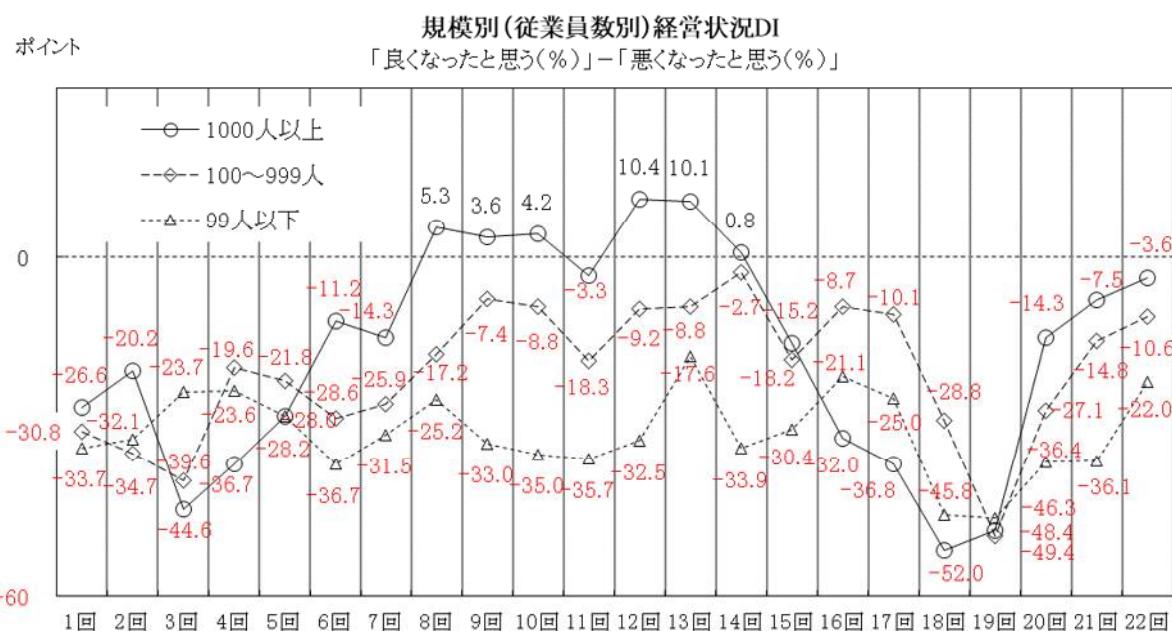
【調査結果】

1. 勤め先の経営状況

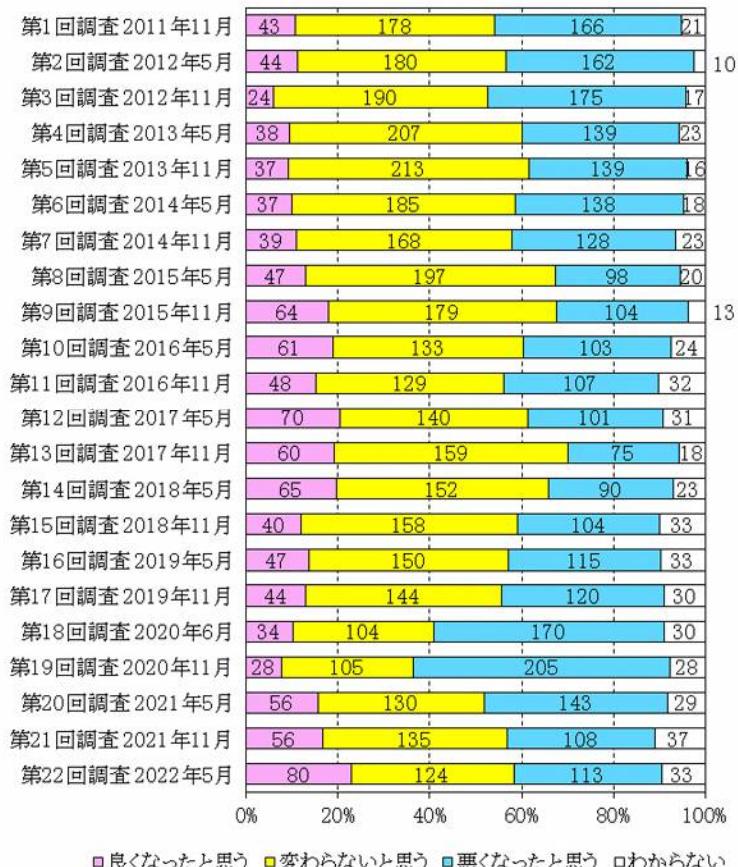
全業種で見た経営状況DIは6.0ポイント上昇した。業種別では、製造業のDIが9.3ポイント、非製造業が10.5ポイント上昇した。規模別では、従業員数99人以下のDIの上昇幅が大きく、14.1ポイント上昇した。勤務地別では、前回調査と同様、東予、中予、南予の順で回答内容が良かった。



(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

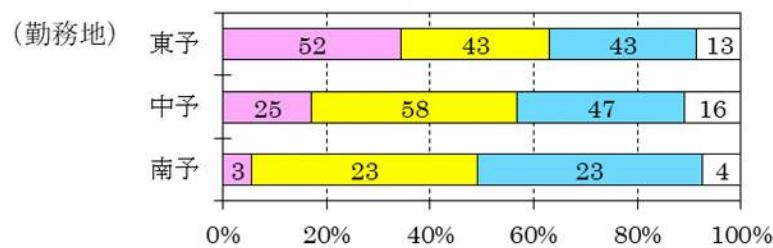


問1 勤め先の現在の経営状況(1年前と比べて)



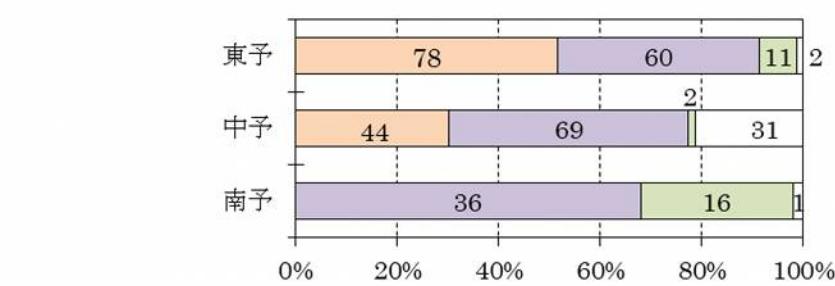
□良くなったと思う □変わらないと思う □悪くなったと思う □わからない

勤務地別に見た勤め先の経営状況(1年前と比べて)



□良くなったと思う □変わらないと思う □悪くなったと思う □わからない

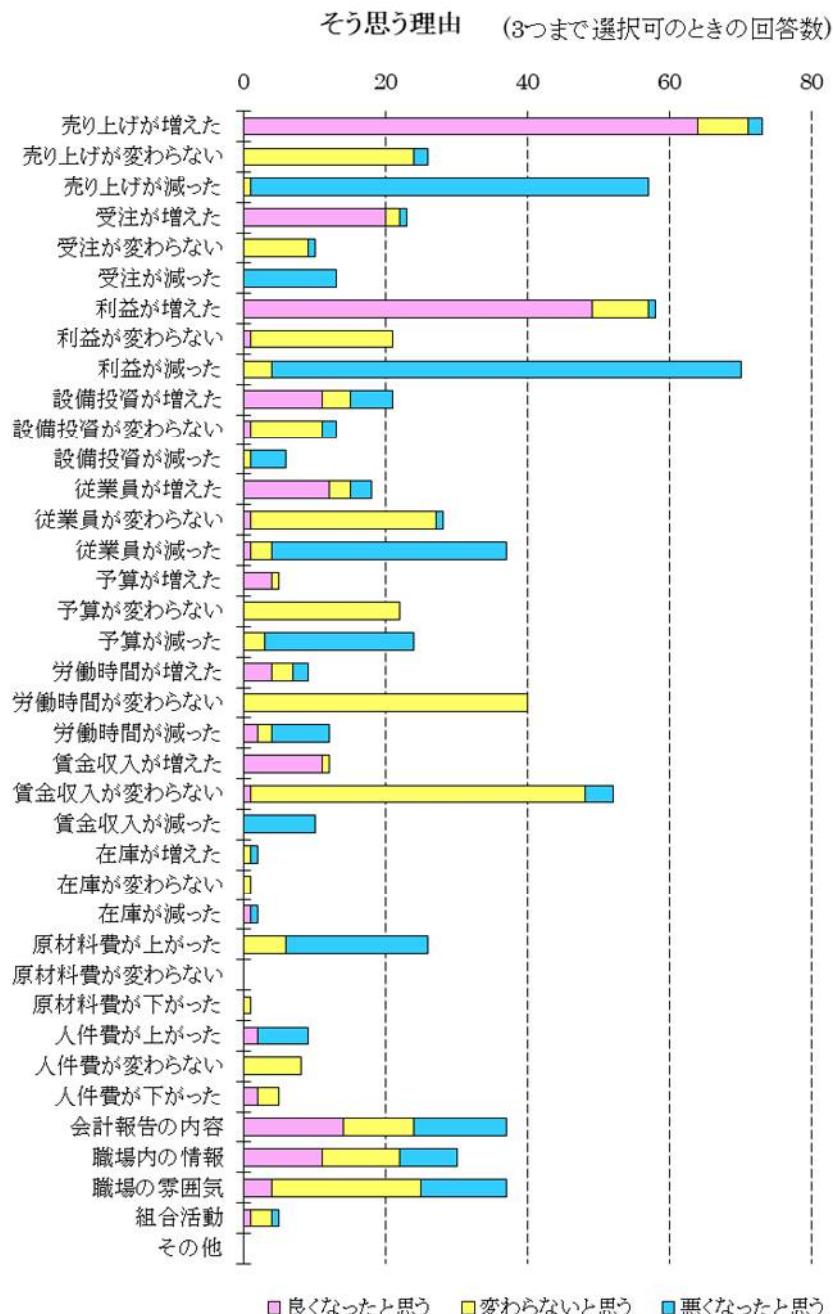
勤務地別に見た業種の構成



□民間(製造業) □民間(非製造業) □公務員 □その他(医療、福祉団体等)

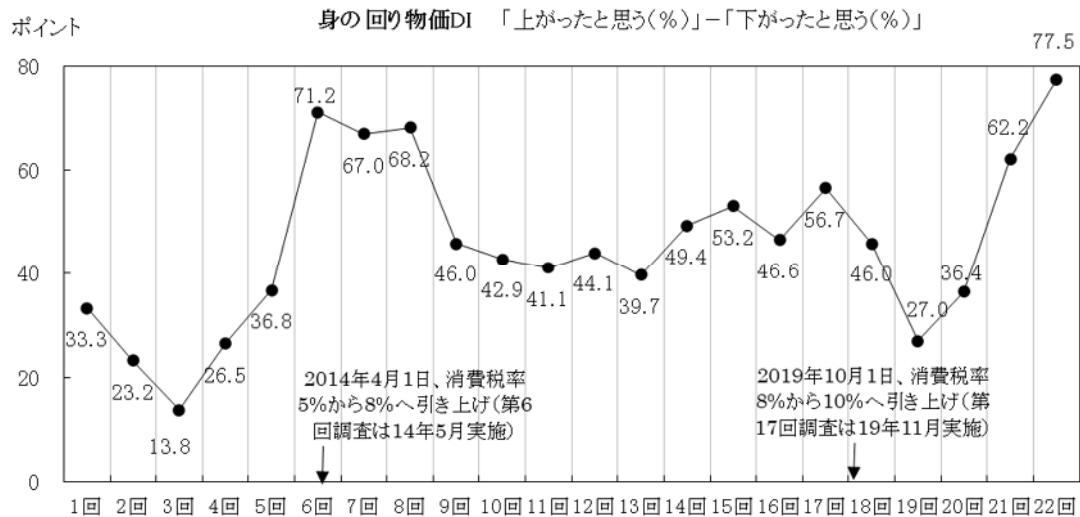
1-1. 勤め先の経営状況について、「良くなったと思う」理由、「悪くなったと思う」理由

第22回調査では、「良くなったと思う」の理由の上位3つは、前回同様に、「売り上げが増えた」「利益が増えた」「受注が増えた」になった。一方、「悪くなったと思う」の理由の上位3つは、「売り上げが減った」「利益が減った」「労働時間が減った」になった。

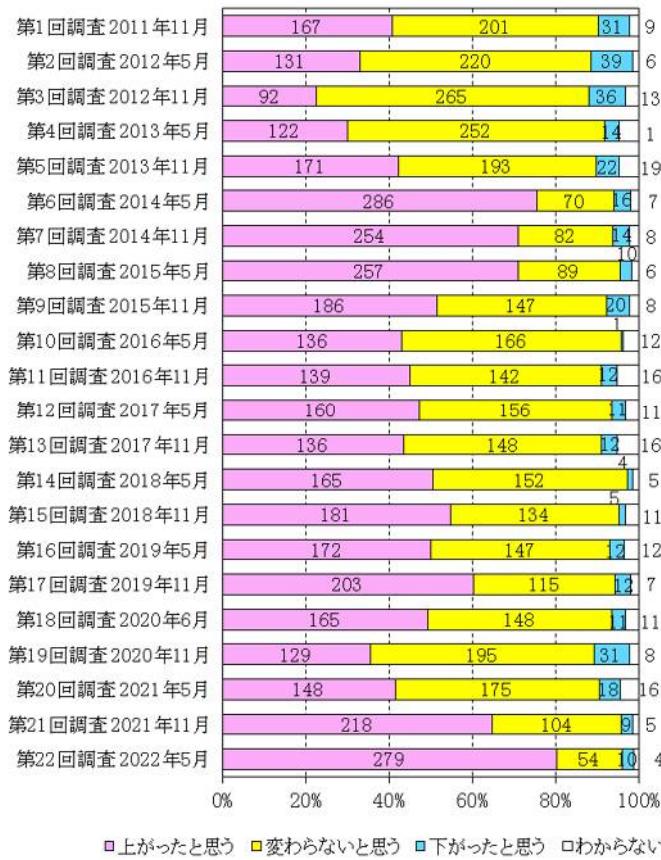


2. 物価

身の回り物価DIは、大幅に上昇した（15.3ポイント上昇）。「上がったと思う」が約8割（80.4%）に達し、調査開始以来、割合が最も多かった。

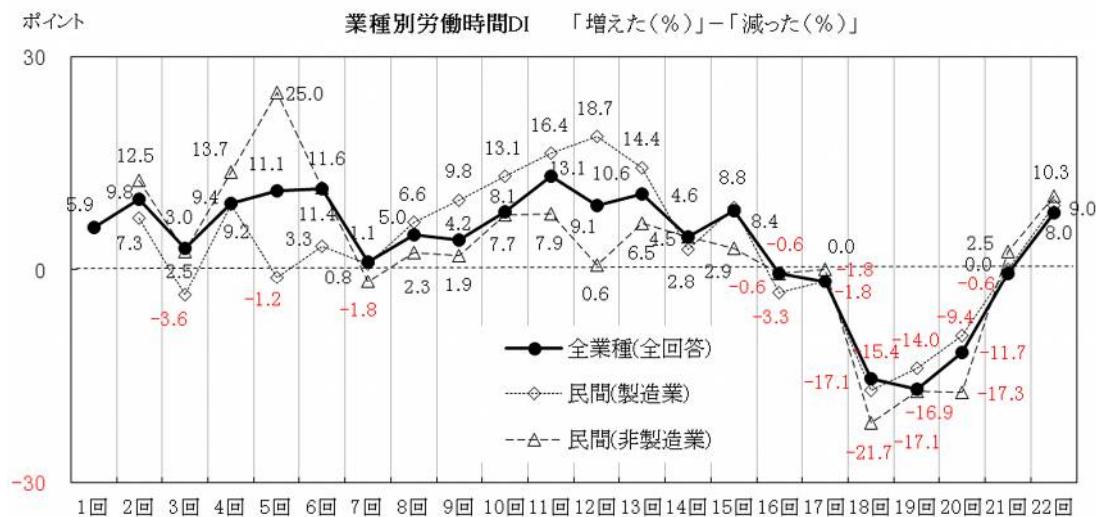


問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格(1年前と比べて)



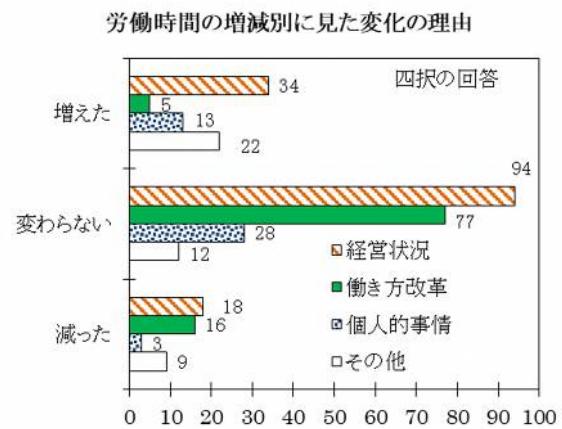
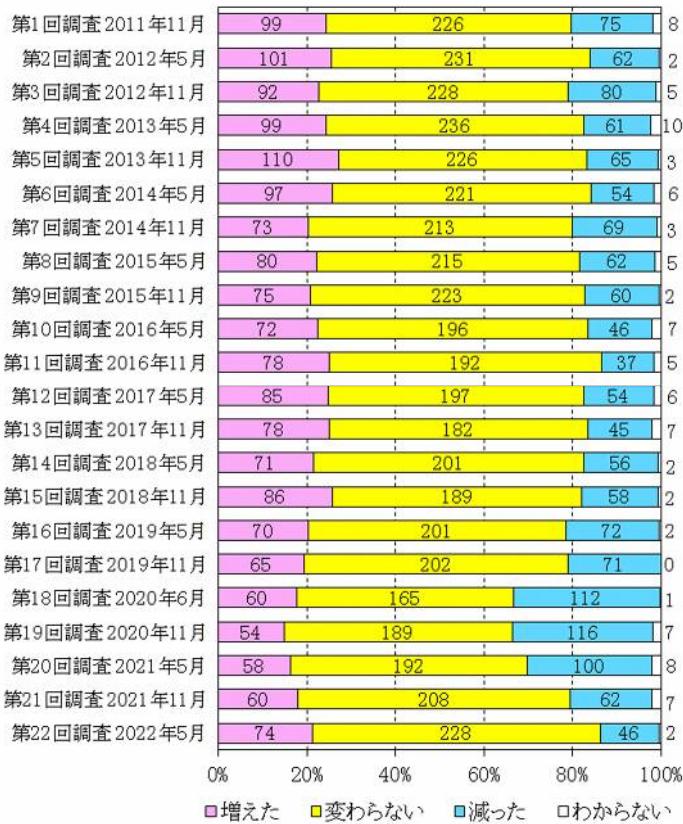
3. 実労働時間

全業種で見た労働時間DIは上昇した（8.6ポイント上昇）。労働時間が増えた理由として、「経営状況」（34人）の選択数が最も多かった。労働時間が減った理由として、「経営状況」（18人）、「働き方改革」（16人）であった。



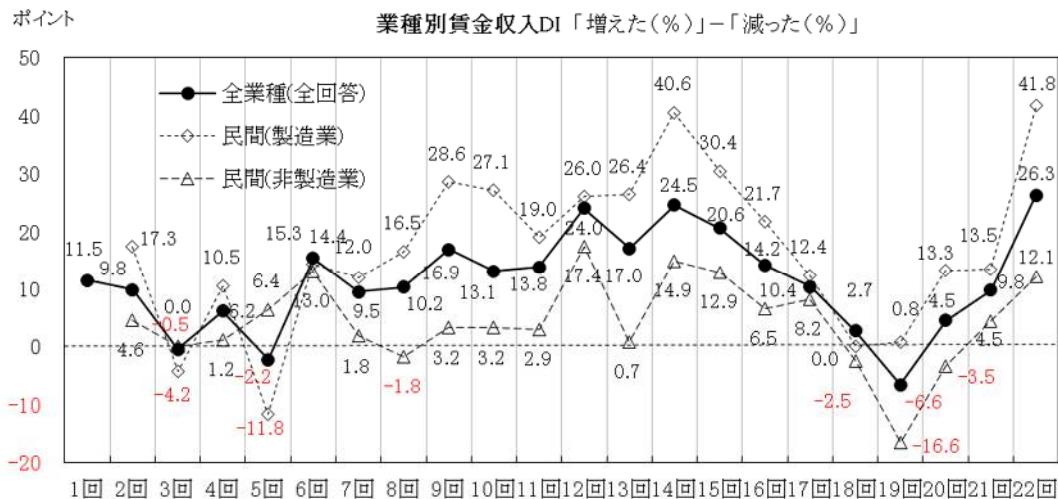
(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

問3 最近の実労働時間（全業種、残業・休日出勤を含む、1年前と比べて）



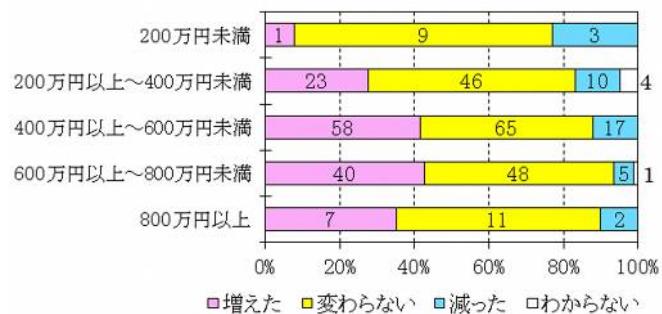
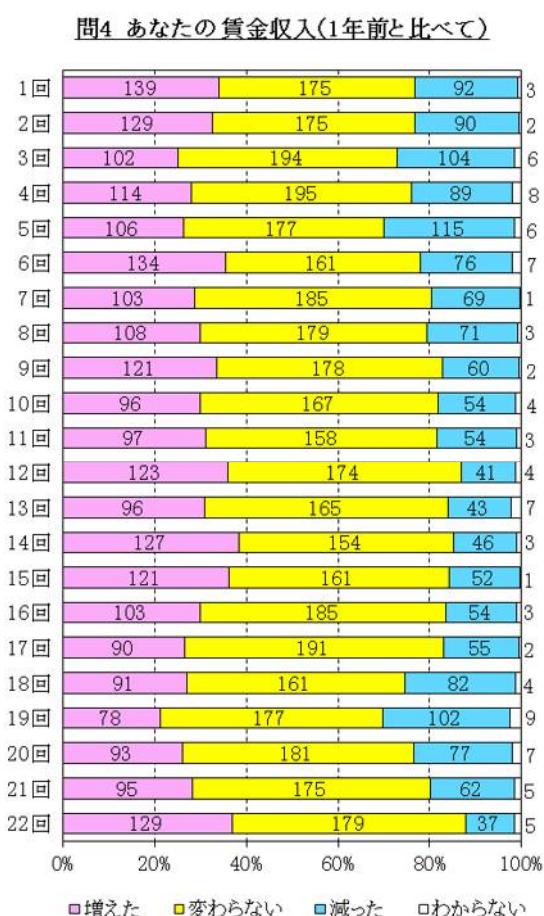
4. 賃金収入

全業種で見た賃金収入DIが大幅に上昇した（16.5ポイント上昇）。中でも製造業の賃金収入DIが大幅に上昇し、調査開始以来最大の上昇幅になった（28.3ポイント上昇）。年齢別では20歳代・30歳代で、業種別では製造業で「増えた」の割合が高かった。

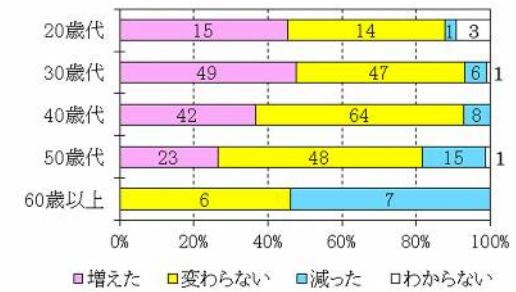


(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

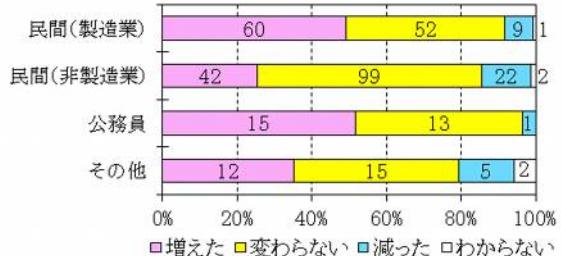
年収別にみた賃金収入の変化(1年前と比べて)



年齢別に見た賃金収入の変化(1年前と比べて)

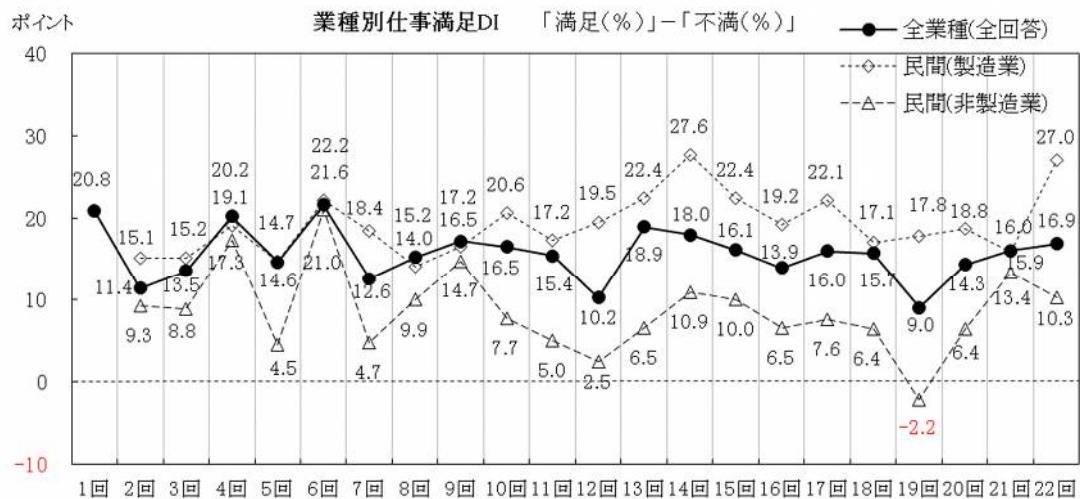


業種別に見た賃金収入の変化(1年前と比べて)

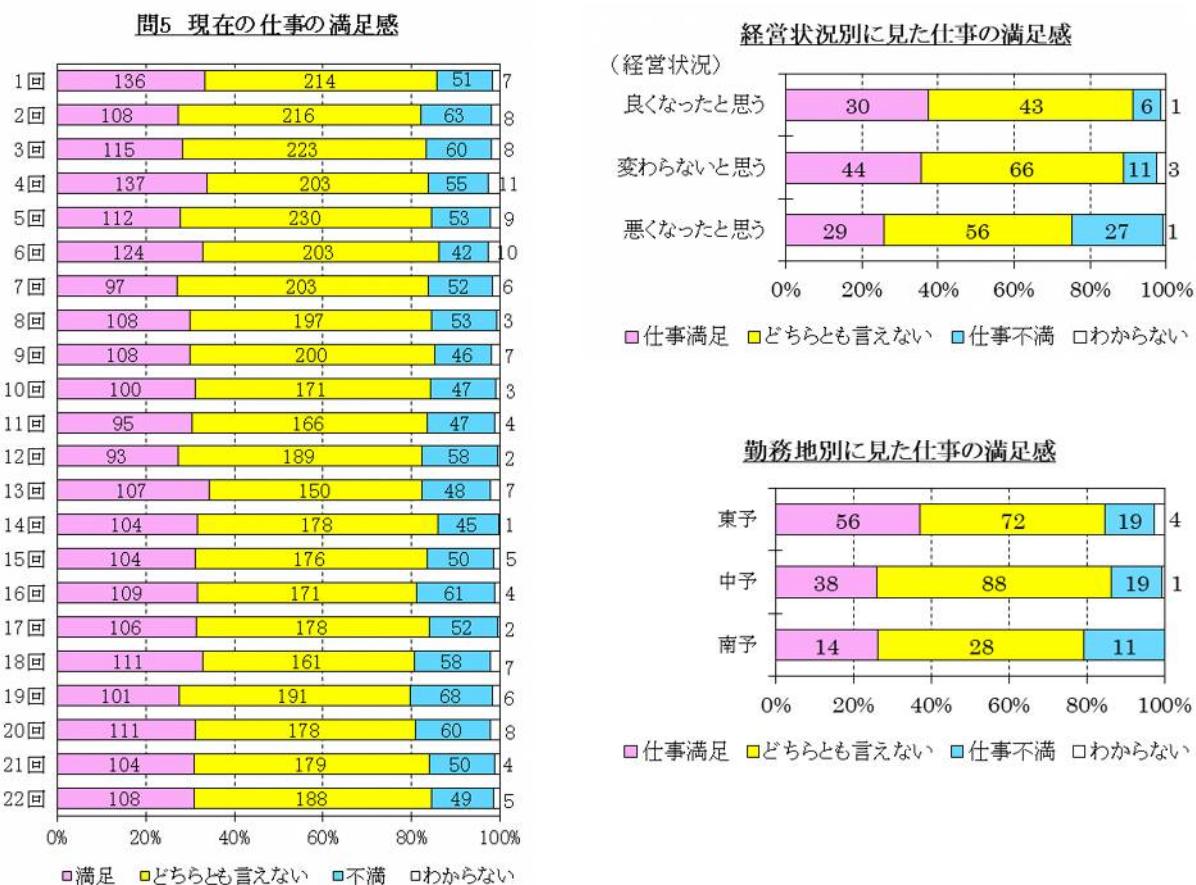


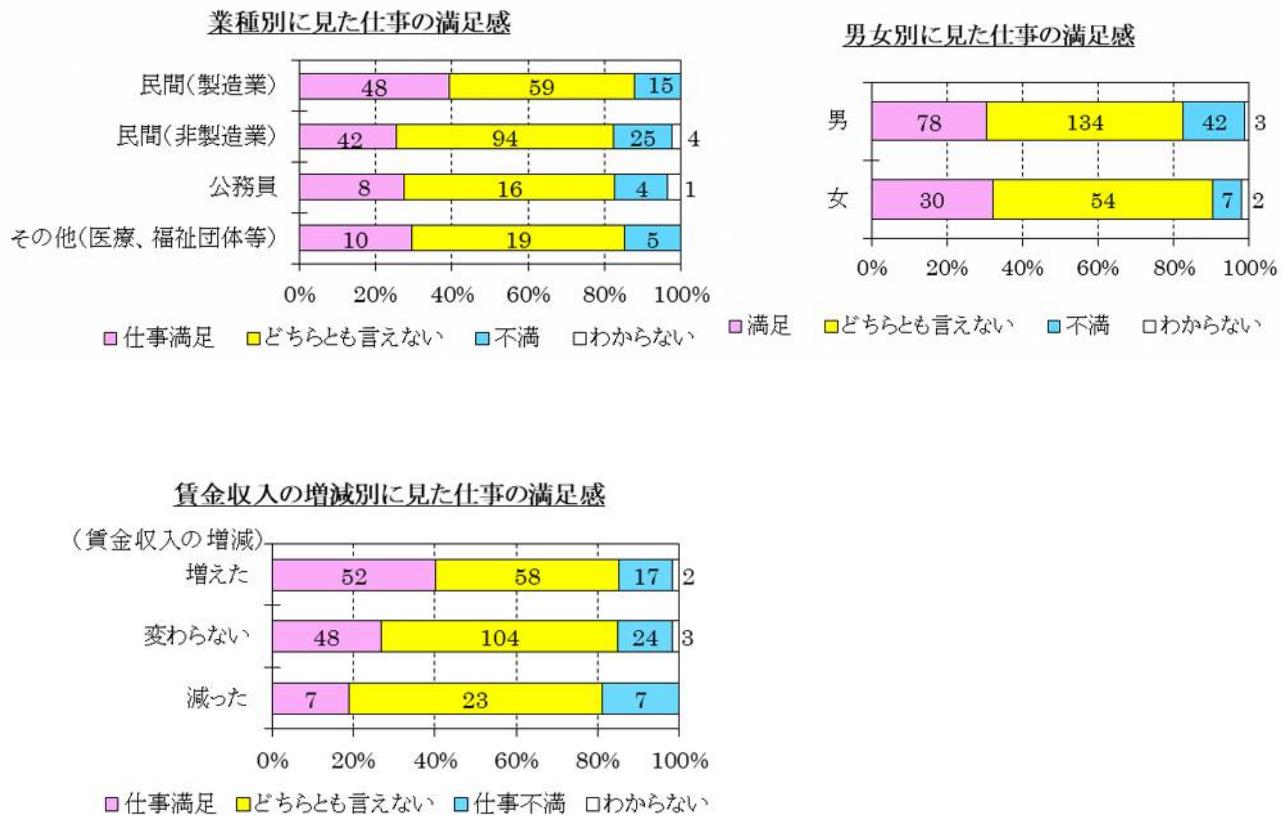
5. 勤め先の仕事の満足感

全業種で見た仕事満足DIはほぼ横這いであった（0.8ポイント上昇）。製造業のDIが11.2ポイント上昇し、非製造業のDIが3.1ポイント下落した。従来の調査と同様に、「勤め先の仕事の満足感」と「勤め先の経営状況」や「賃金収入の増減」との間に関連性が見られた。



(注)全業種は、民間(製造業)、民間(非製造業)、公務員、その他(医療、福祉団体等)からなる。

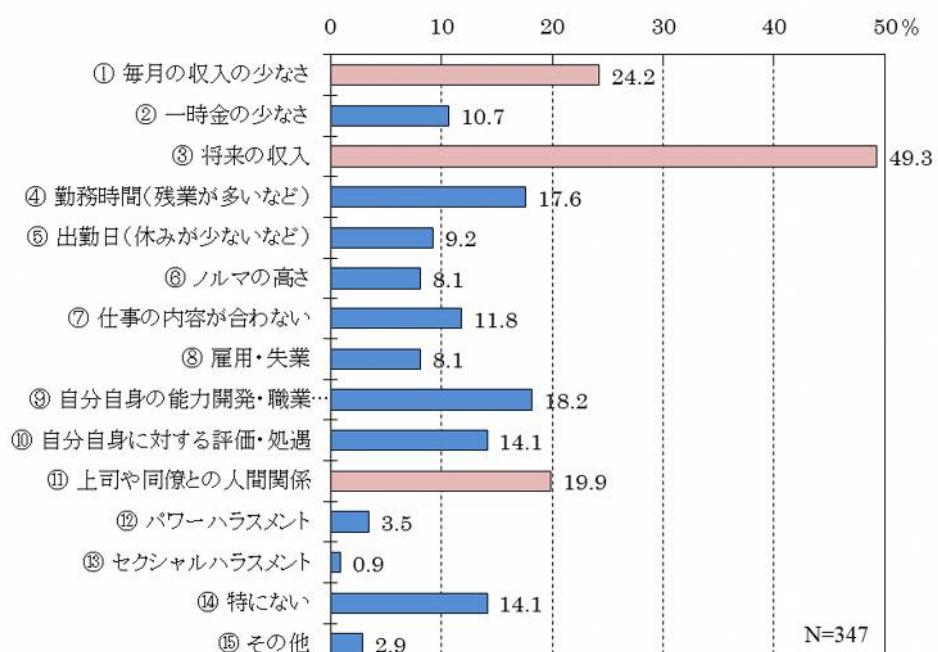




5-1. 仕事の不安・悩み（問6の結果）

仕事に関連した不安・悩みとして、「将来の収入」49.3%が突出して多く、「毎月の収入の少なさ」24.2%、「上司や同僚との人間関係」19.9%、「自分自身の能力開発・職業訓練」18.2%が続いた。

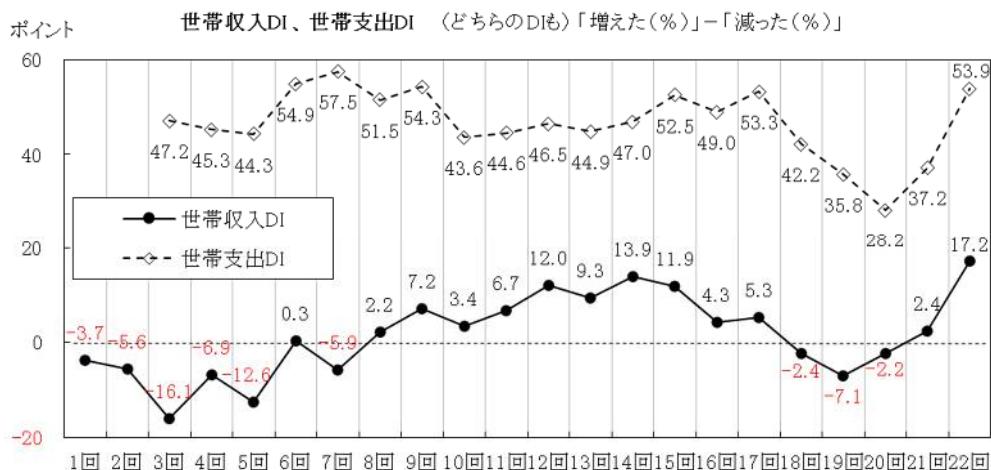
問6 仕事に関連してこの半年特に不安に思ったこと・悩んだこと（3つまで選択可）



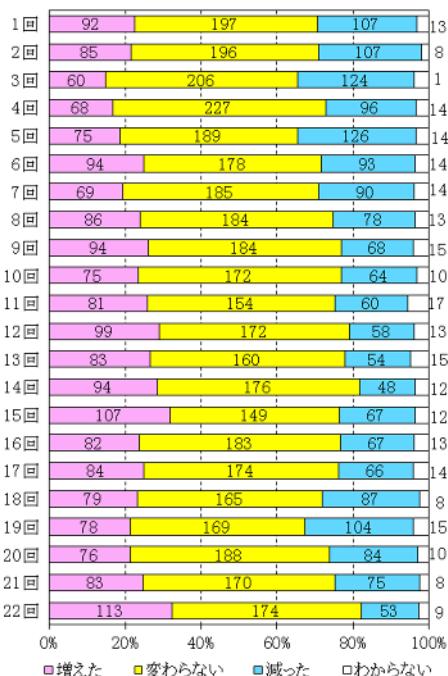
〈暮らし向きについて〉

6. 世帯全体の収入、支出（問7、問8の結果）

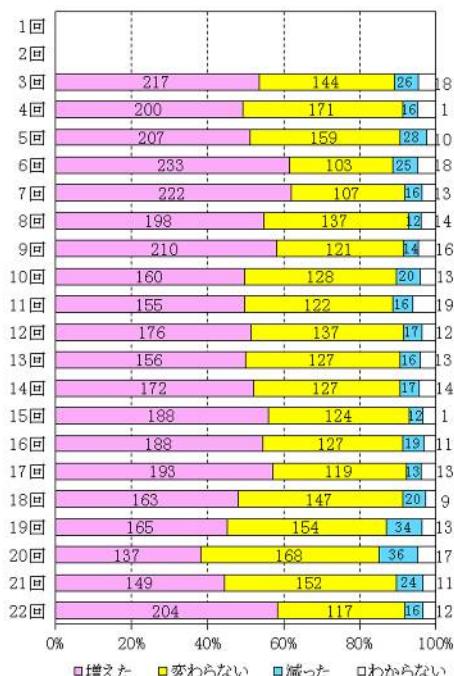
世帯収入DI、世帯支出DIともに大幅に上昇した（それぞれ14.8ポイント上昇、16.7ポイント上昇）。前回第21回（2021年11月）調査以降、世帯全体の収入、支出ともに「増えた」という回答の割合が増え続けている。



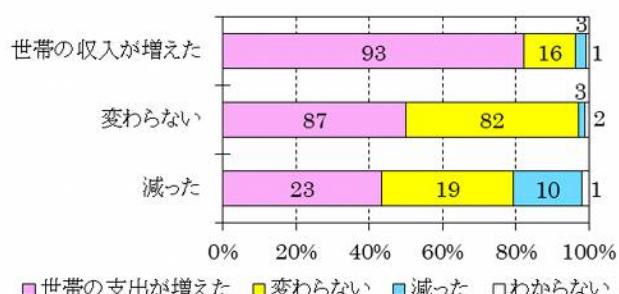
問7 世帯全体の収入(1年前と比べて)



問8 世帯全体の支出(1年前と比べて)



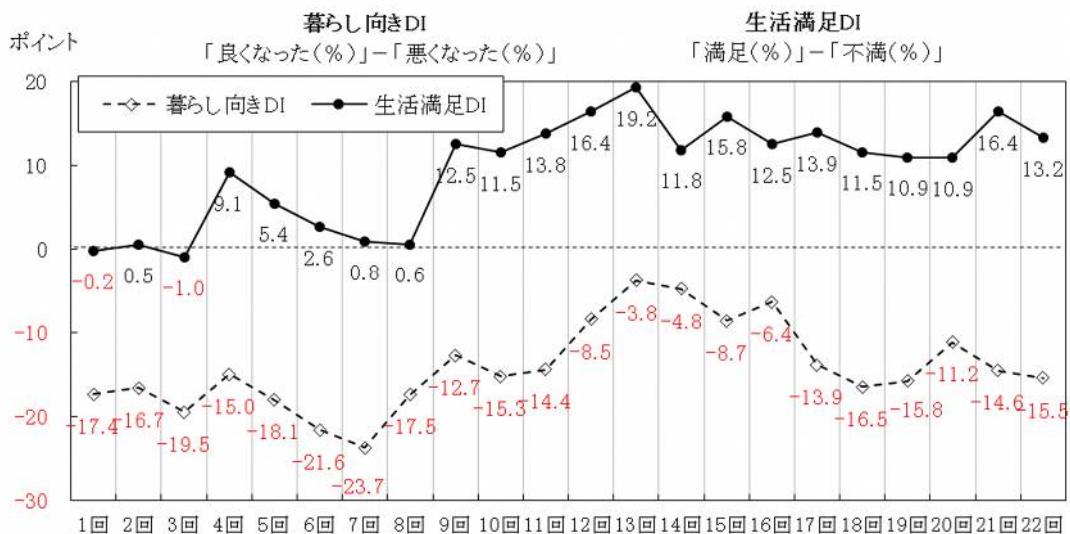
世帯収入の変化と世帯支出の変化(1年前と比べて)



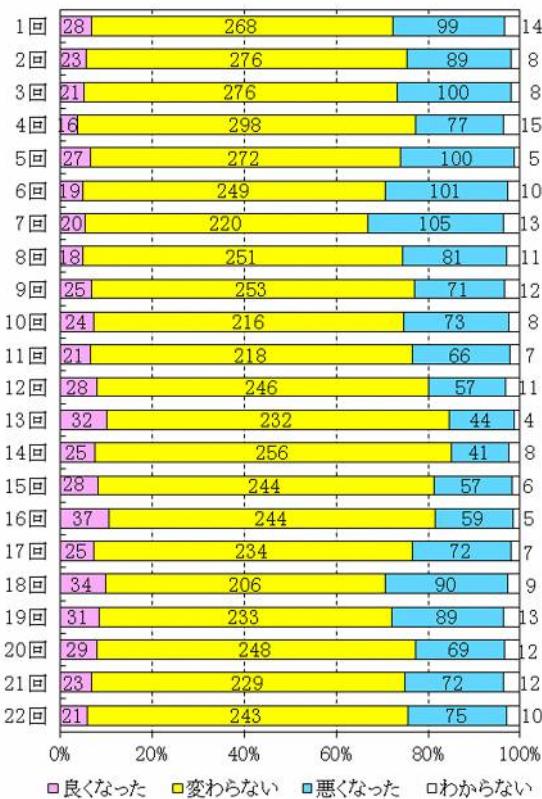
7. 世帯の暮らし向き（問9の結果）、生活の満足感（問10の結果）

世帯の暮らし向きDIはマイナス圏のままほぼ変化はなかった（0.9ポイント下落）。前回調査と同様に、「世帯の暮らし向き」は回答者自身の「賃金収入の増減」（減った）との間に特に強い関連性が見られた。

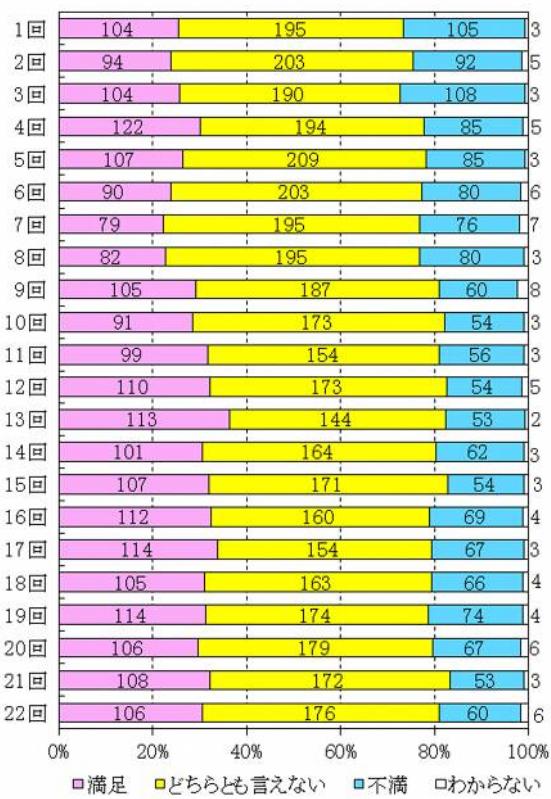
生活満足DIは僅かに下落した（3.2ポイント下落）。これまでの調査結果と同様に、「生活の満足感」は「仕事の満足感」「世帯の暮らし向き」との間に関連性が見られた。



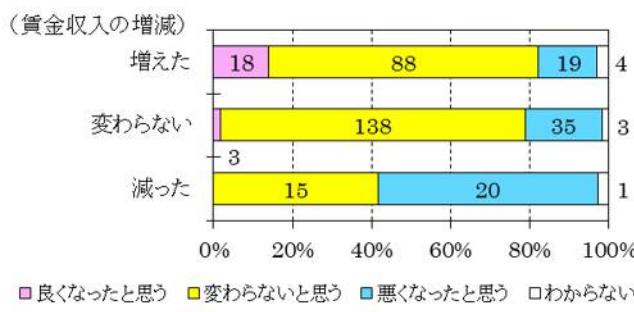
問9 世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



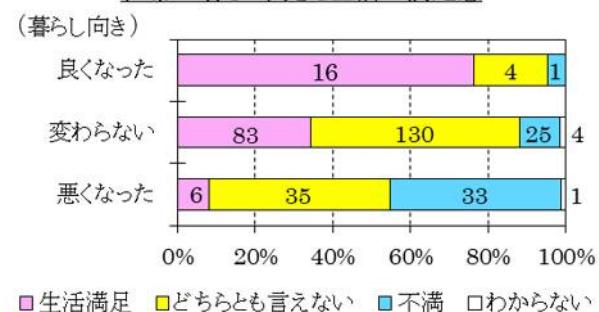
問10 現在の生活の満足感



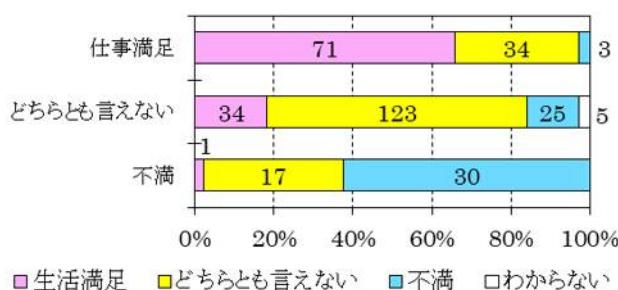
賃金収入の増減別に見た世帯の暮らし向き(1年前と比べて)



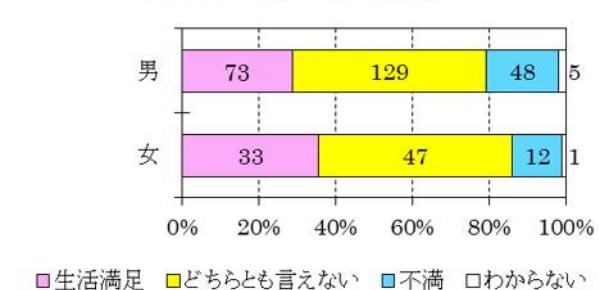
世帯の暮らし向きと生活の満足感



仕事の満足感と生活の満足感



男女別に見た生活の満足感



8. 生活の不安・悩み（問11の結果）

前回調査と同様に、「預貯金など資産の少なさ」43.8%、「自分や家族健康」43.8%、「子どもの教育」28.7%、「自分自身または配偶者の老後」28.1%が多かった。

問11 生活に関連してこの半年特に不安に思ったこと・悩んだこと(3つまで選択可)

